

ミクロ経済学
演習2020
第11回
(July/20)

・ 2020年7月3日の札幌市（札幌
駅の38階展望台から）



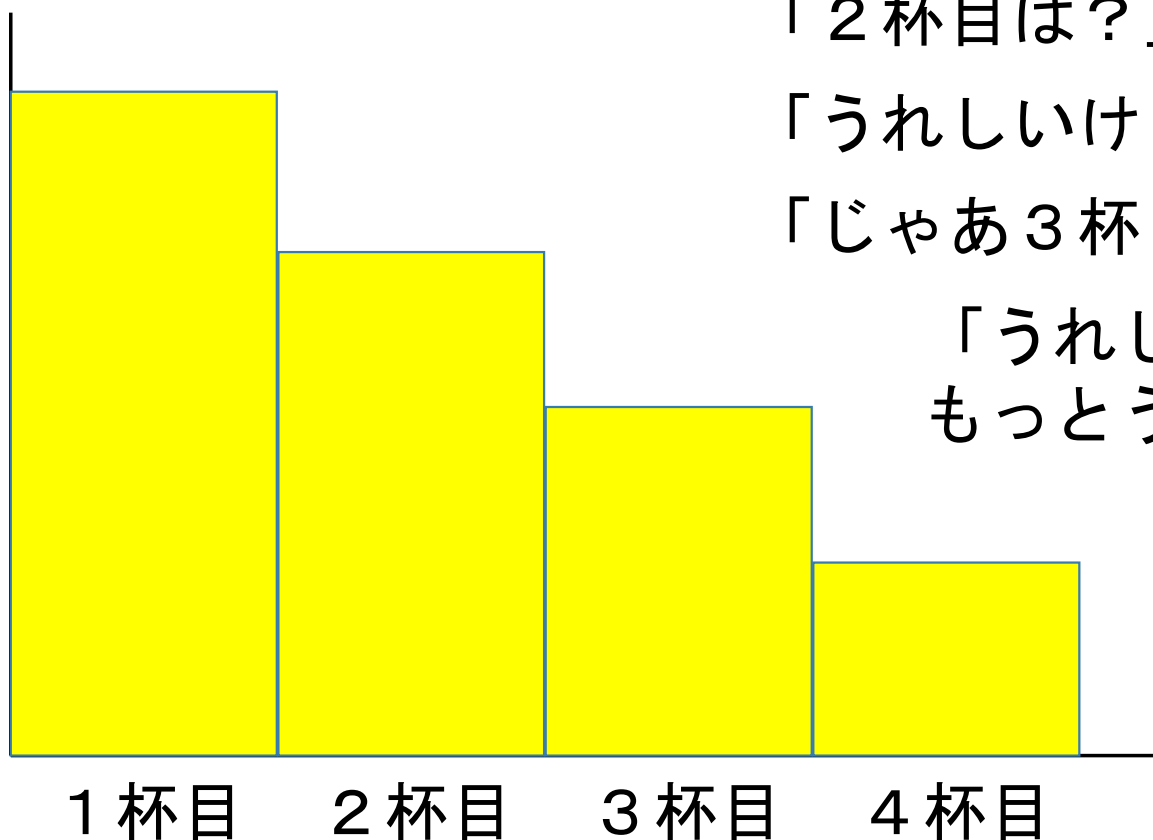
本日のコンテンツ

1 : 私たち消費者の日頃のもの買い方と「右下がりの需要曲線」

2 : 消費者余剰

唐突ですが、「想像してみてください」

沸いてくる「うれしさ」



「1 杯目、うれしい」

「2 杯目は？」

「うれしいけど、1 杯目ほどじゃない」

「じゃあ3 杯目は？」

「うれしいけど、2 杯目より
もっとうれしさが目減りした」

このような（誰かがお茶かジュースをくれたら）

「1杯目は、ものすごく嬉しい」

「引き続き2杯目もくれた。2杯目は、1杯目ほどじゃないけどやっぱり嬉しかった」

「引き続き3杯目になると、うれしいけど、2杯目よりもっとうれしさが目減りした」

・・・という


順番にももの（同じ財やサービス）を獲得していったときに
心の中に湧いてくる「うれしさ（嬉しい気持ち。うれしいな）」
のことを **限界効用** という。

限界効用は

- 1) どんな財やサービスについてであれ、
- 2) 年齢、国籍、性別、などに関わらず、誰であれ、
どんな人であれ、
- 3) 量がすすむと（＝引き続き手に入って、量が進んでいくにつれて）

必ず、下がってくる。（それもかなり急激に、ガクン、ガクンと
下がってくる）。

なのでそれ（量がすすむにつれて、どんどん限界効用、つまり
「湧いてくるうれしさ」が「下がってくる」という人の心の性質）
のことを「限界効用逓減の法則」という。

 「逓減」と書いて「ていげん」と読む。

ところで

たいていの人は、お茶やジュースを「誰かがくれた」といって無料で（タダで）手に入れるようなラッキーには人生の中で滅多に遭遇することはない。

通常はお茶やジュースはどこかで買って手に入れるしかない。

お金を手放すとき、なかなか気が付きにくいかもしれないが実はちょっと心にムムムっという感覚（抵抗感というか、残念感というか）を感じる。

街を歩いていると、募金お願いします、といって小学生ぐらいの子供が募金活動をしていて、目と目があってしまった。

街を歩いているとジュースとお茶の自動販売機を見つけ、お金を投入したにもかかわらず、自販機が壊れていて商品が何も出て来なかった。。。

ということで、人は「お金を払うとき（お金を手放すとき）」
一抹の不幸な気持ち（「ムムム感」とでも読んでおきましょう）
を感じる。

「ムムム感」(^_^; ;

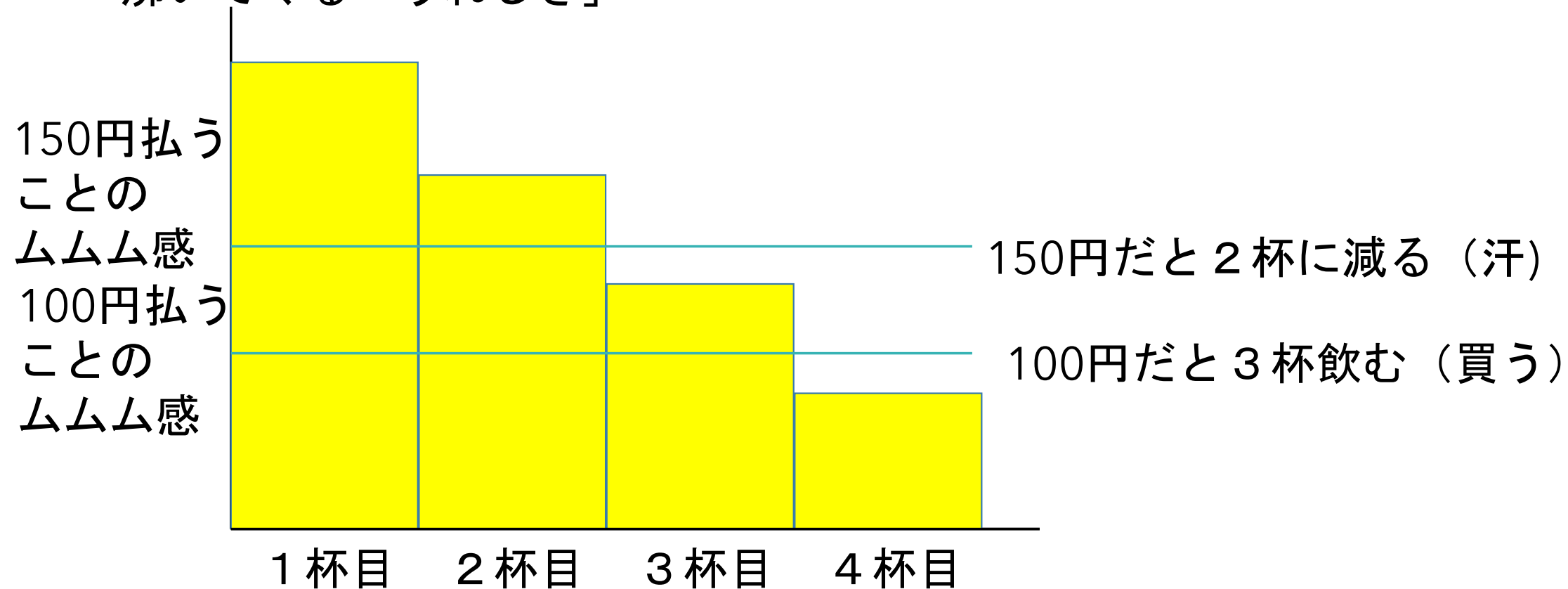
150円払う
ことの
ムムム感
100円払う
ことの
ムムム感

150円払うことになると
ムムム感も高くなる
100円払うことのムムム感

1 杯目 2 杯目 3 杯目 4 杯目

そして「うれしさ」と「お金を払うときのムムム感」とを比べて、人々は「何杯目まで飲もう（買おう）」ということを決めています。

沸いてくる「うれしさ」



ということで、この「限界効用の大きさ」を並べたこの図が

沸いてくる「うれしさ」

「右下がりの、需要曲線」
(の正体)

150円払う
ことの
ムムム感
100円払う
ことの
ムムム感

150円だと2杯に減る(汗)

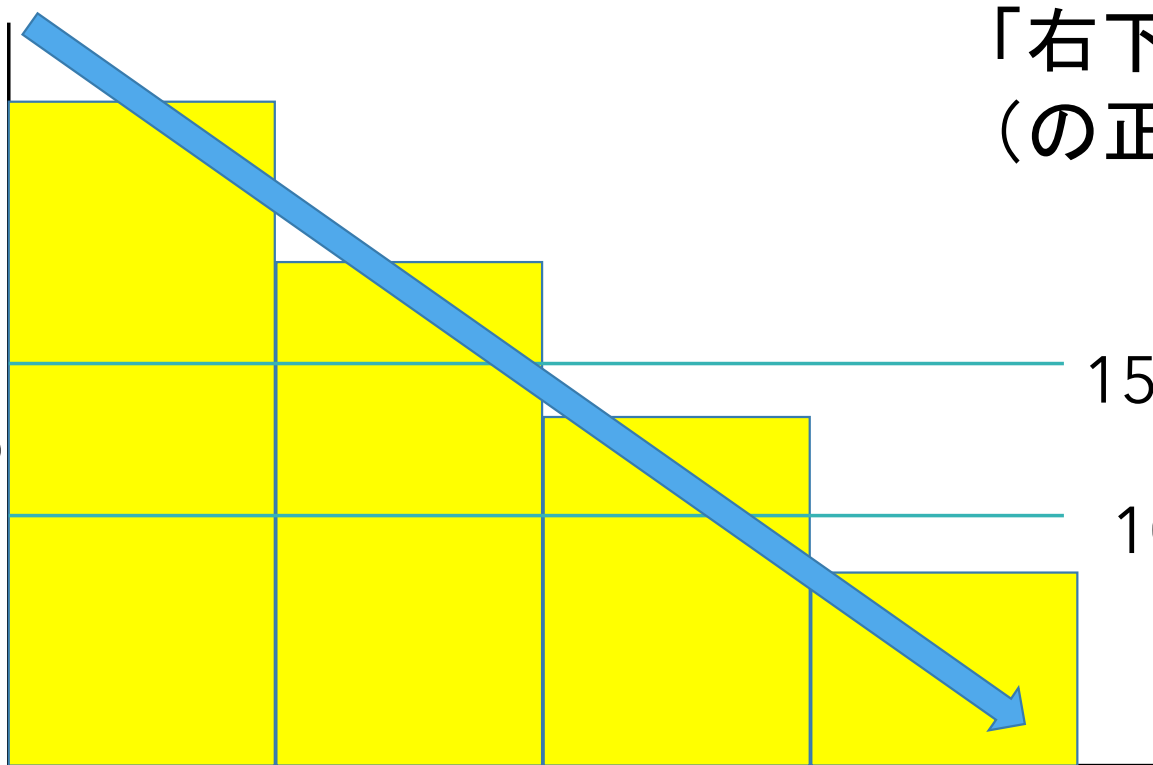
100円だと3杯飲む(買う)

1杯目

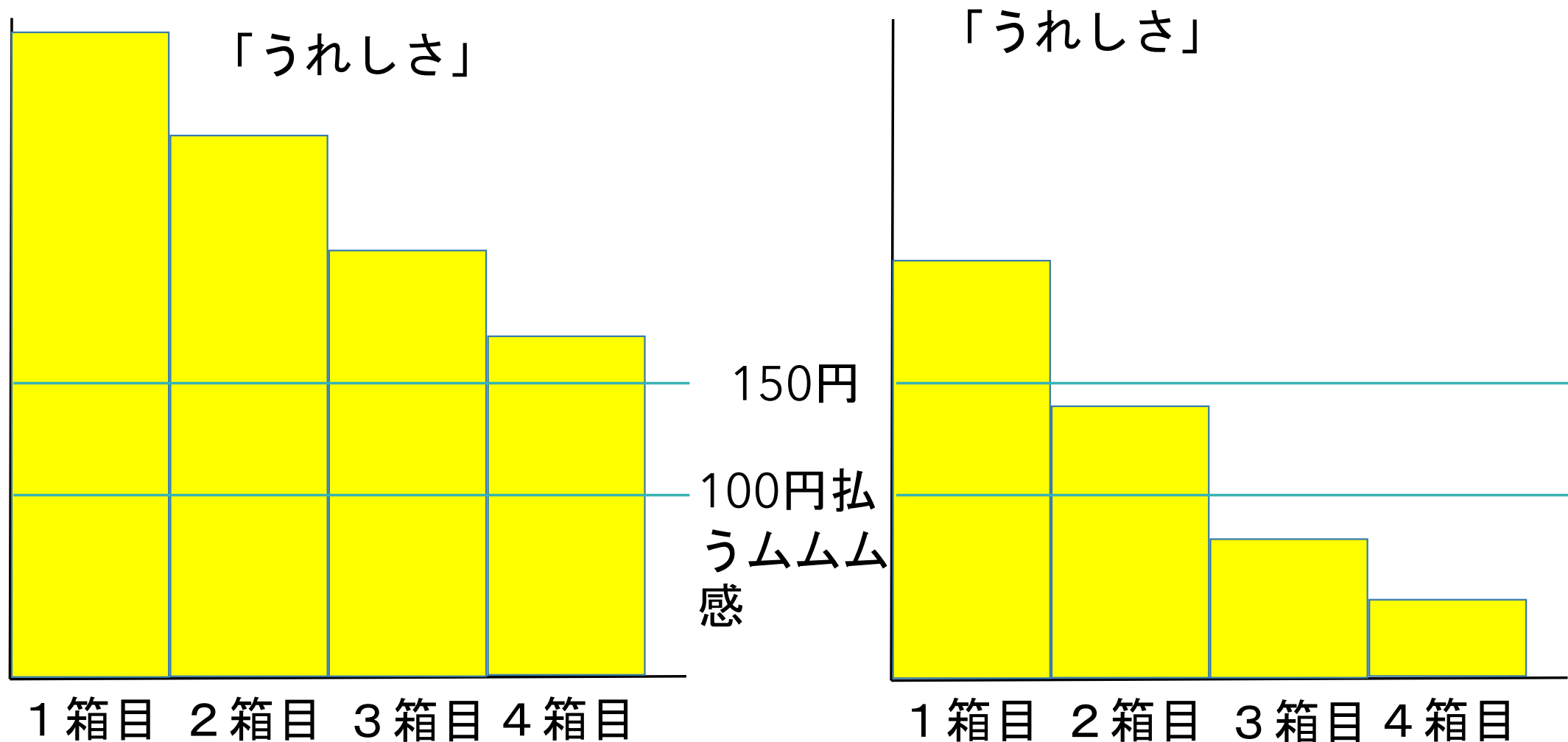
2杯目

3杯目

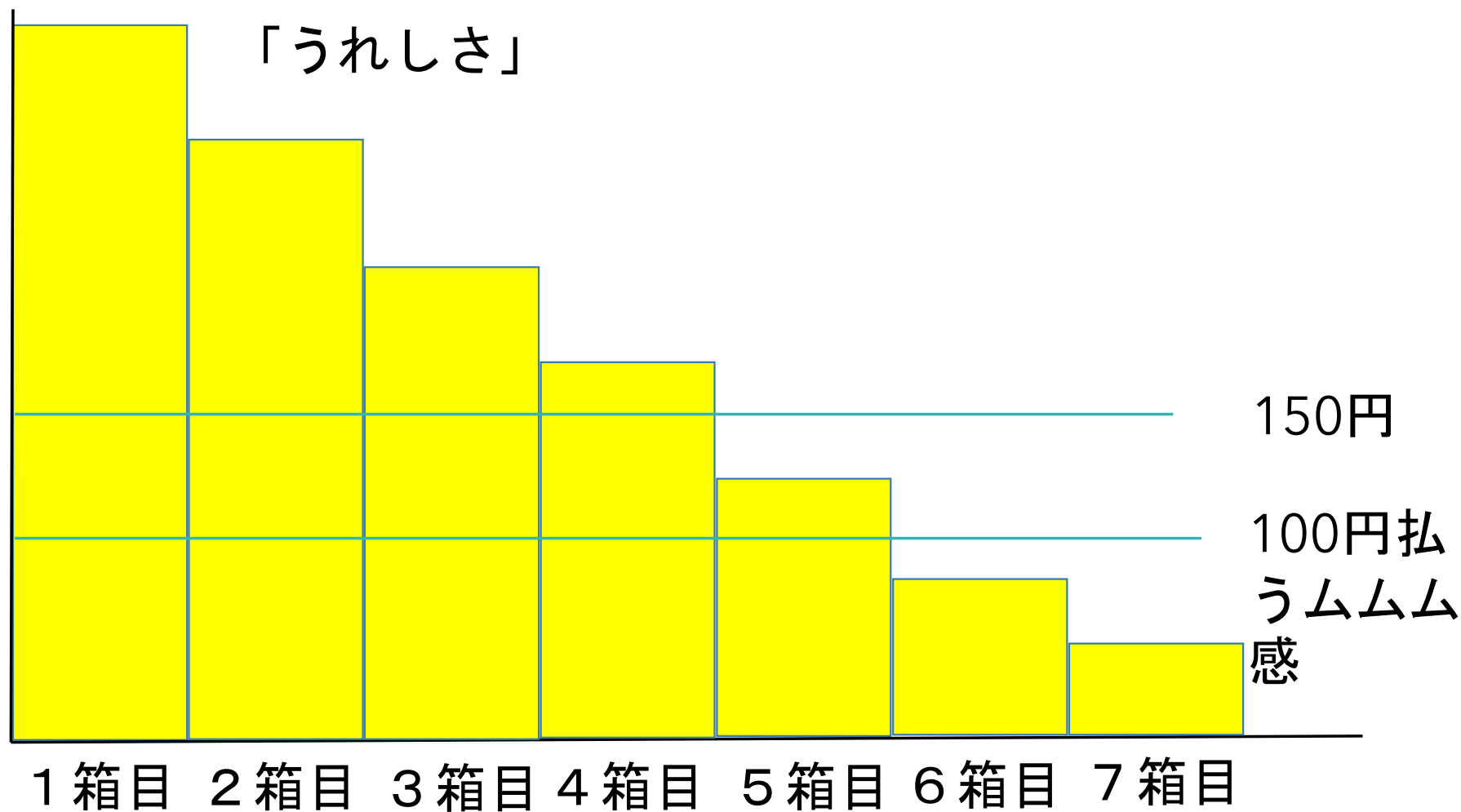
4杯目



チョコビが好きなしんのすけと、そうでもないぼーちゃん（？）



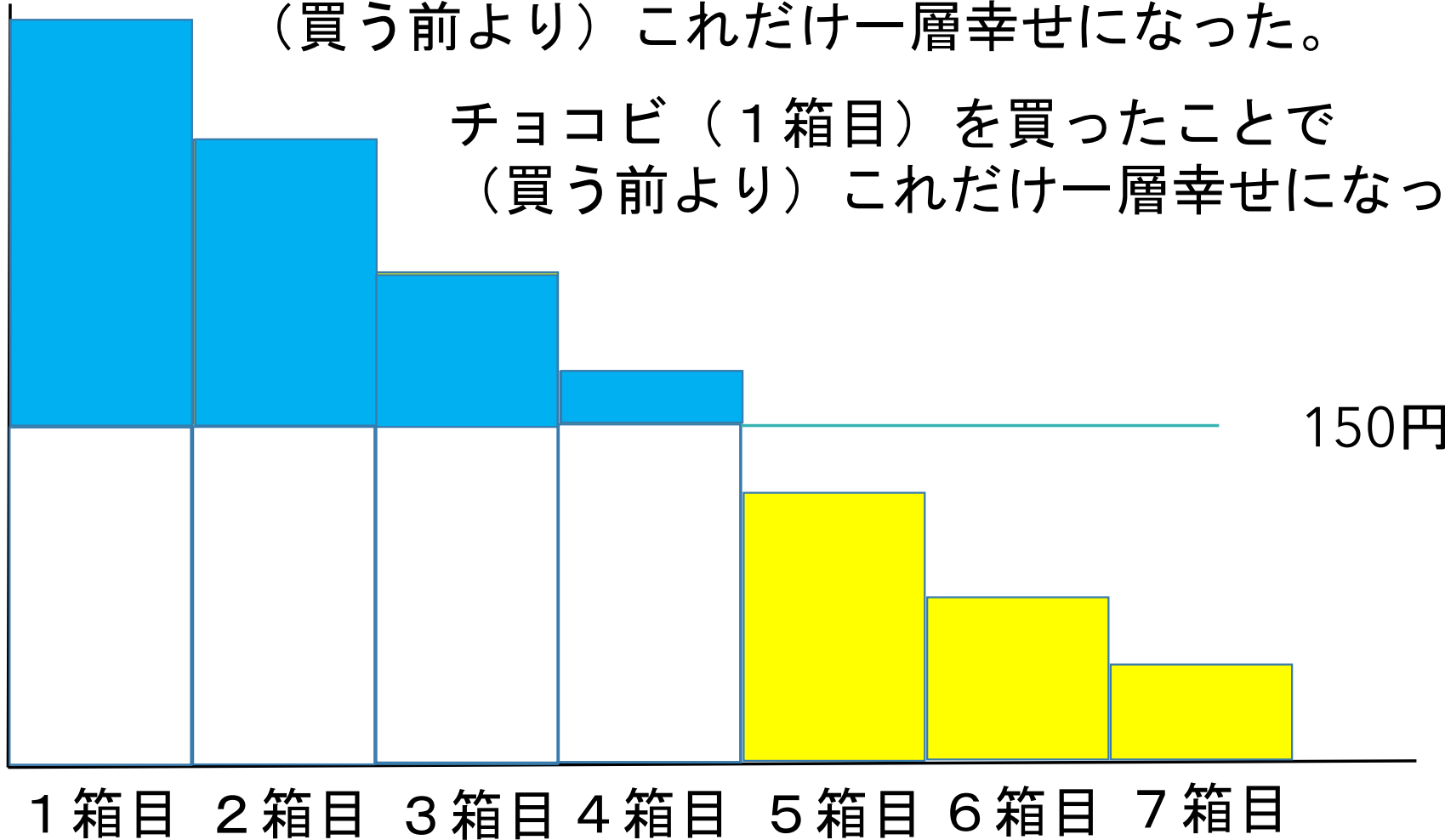
チョコビが好きなしんのすけに注目



チョコビが150円だとして

チョコビ（1箱目）を買ったことで
（買う前より）これだけ一層幸せになった。

チョコビ（1箱目）を買ったことで
（買う前より）これだけ一層幸せになった。



勢い余って5箱目を買ってしまうと・・・

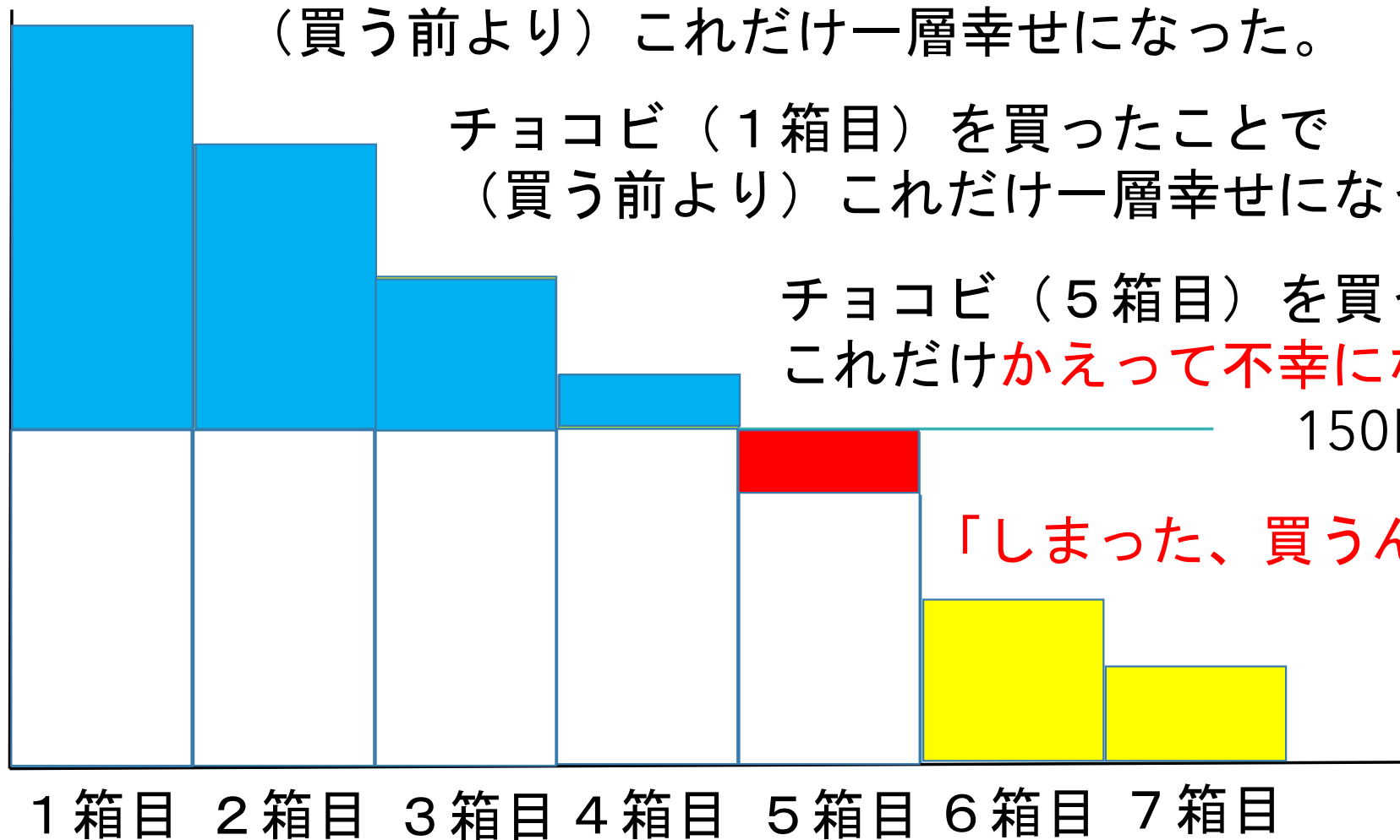
チョコビ（1箱目）を買ったことで
（買う前より）これだけ一層幸せになった。

チョコビ（1箱目）を買ったことで
（買う前より）これだけ一層幸せになった。

チョコビ（5箱目）を買ってしまうと
これだけかえって不幸になる。

150円

「しまった、買うんじゃなかった！」



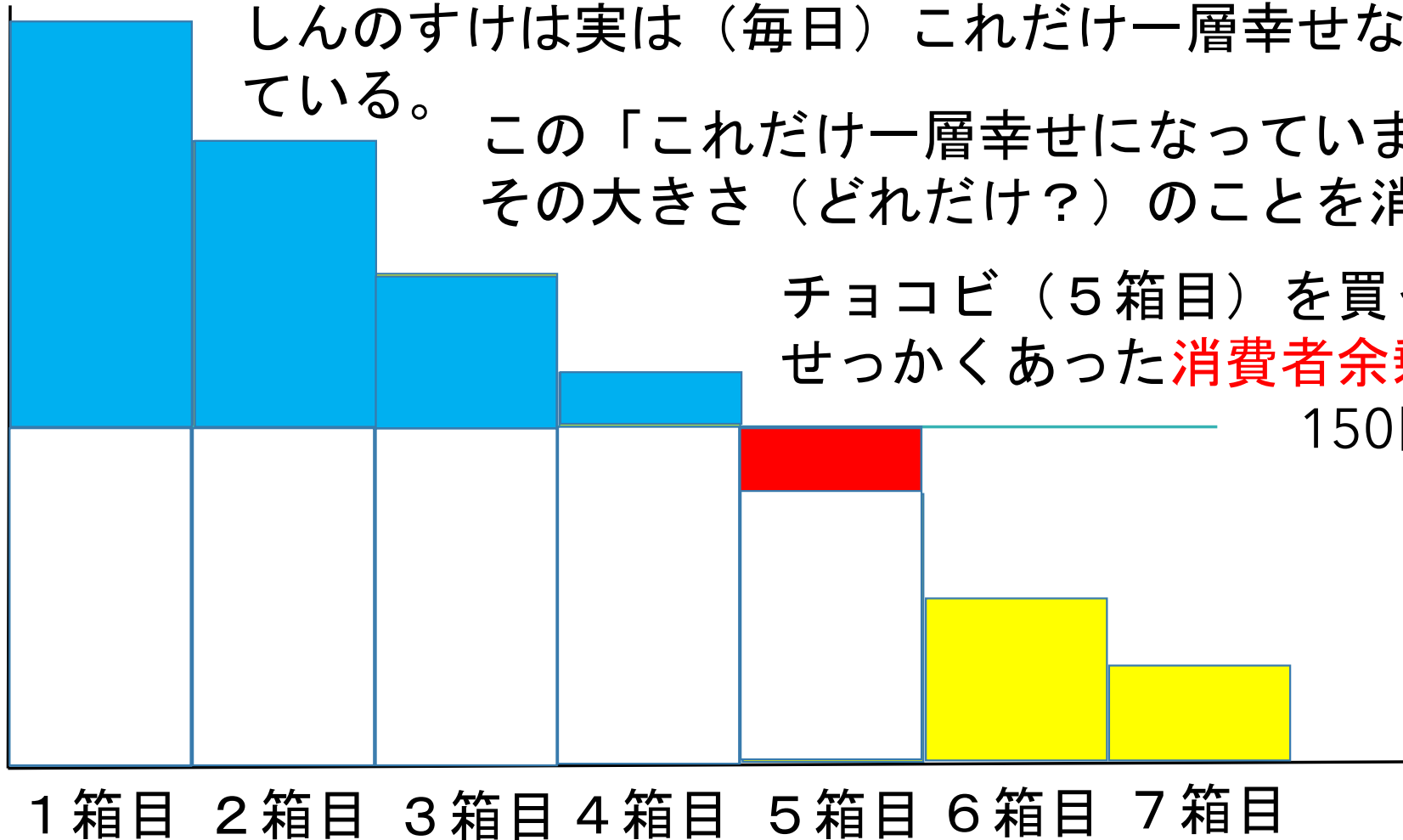
ということで・・・

「チョコビを150円で4箱買う」ことを通じて
しんのすけは実は（毎日）これだけ一層幸せな時間を過ごしている。

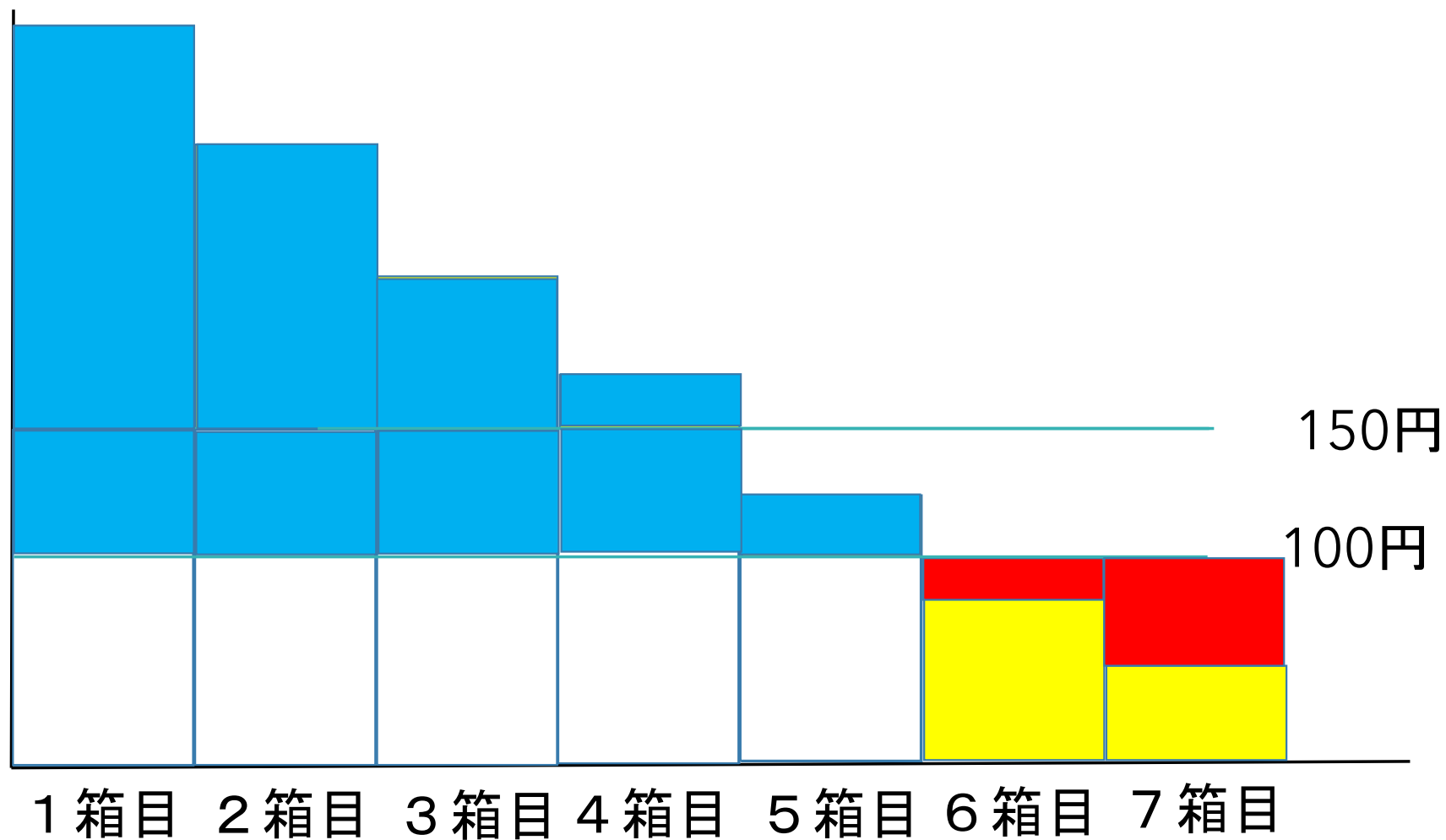
この「これだけ一層幸せになっています」という、
その大きさ（どれだけ？）のことを消費者余剰という。

チョコビ（5箱目）を買ってしまうと
せっかくあった**消費者余剰がこれだけ減る。**

150円



チョコビが値下がりすると・・・

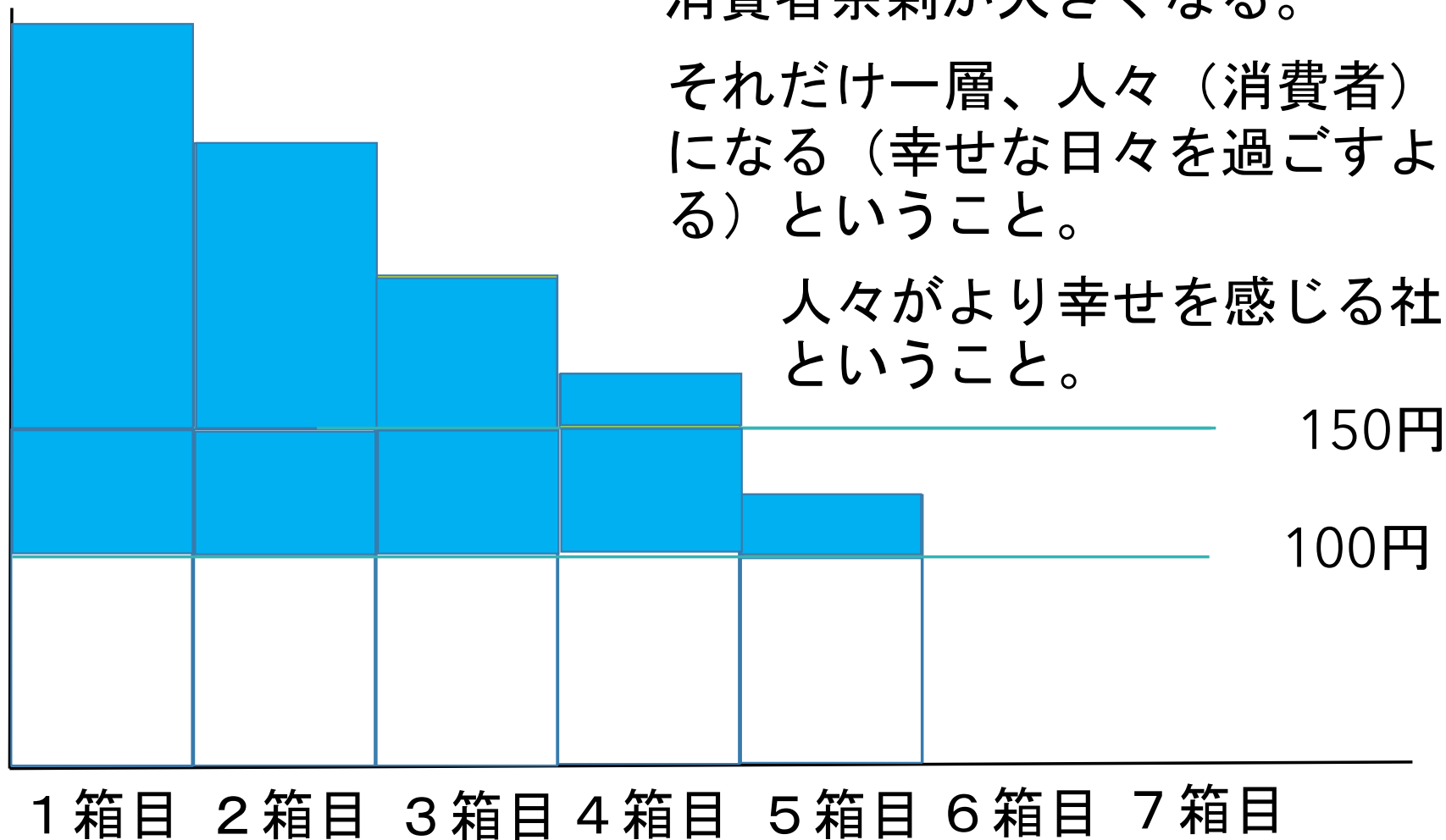


チョコビが値下がりすると・・・

消費者余剰が大きくなる。

それだけ一層、人々（消費者）が幸せになる（幸せな日々を過ごすようになる）ということ。

人々がより幸せを感じる社会になった、ということ。



7/20はここまで